

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年3月30日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年3月30日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【1号機原子炉格納容器ガス管理設備(B)の監視不能について】 当直員が1号機原子炉格納容器ガス管理設備(B)が正常な指示値を表示していないことを確認し、監視できない状態と判断。 原子炉格納容器ガス管理設備(A)については、正常に動作しており、指示値に異常はなく、プラントデータ監視に支障なし。 原子炉格納容器ガス管理設備(B)の調査の結果、核種分析装置検出器の異常と推定し、検出器の交換を実施。その後、原子炉格納容器ガス管理設備(B)を起動し、指示値に異常が見られないことから、監視可能な状態に復帰したものと判断。</p>	G II	3月24日
2	<p>【協力企業作業員による携行品モニタでの非携行品の検査について】 協力企業作業員が構内作業で使用した携行品の搬出に際し、入退域管理棟汚染検査所携行品モニタで汚染検査をしたところ、汚染が確認された。 汚染していた物品は構内より持ち出せない非携行品のホースカブラ(※)であった。 原因は、構内での作業前、構内事務所から資機材を持ち出し、作業終了後資機材を返却したが、持ち込んだ携行品袋に誤ってホースカブラが紛れ込み、そのホースカブラが汚染していたもの。 汚染していたホースカブラは構内事務所に戻し、構外への搬出はなし。 今後、再発防止対策を検討。</p> <p>※ホースカブラ:ホースを接続する器具</p>	G III	3月25日
3	<p>【大型機器除染設備ロボットアーム(B)の動作不能について】 当社社員が大型機器除染設備ロボットアーム(B)の現場調査をしていたところ、動作不能を確認。 ロボットアームは(B)を含め6台あり、他の5台でも除染作業は可能であるが、(B)の原因を調査し修理を行った後に作業再開予定。</p>	G III	3月25日